トステム株式会社

リビング建材
グランドライン　クラシック／モダン
グランドライン ラフィス

クローゼット折れ戸　取付け説明書

●この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

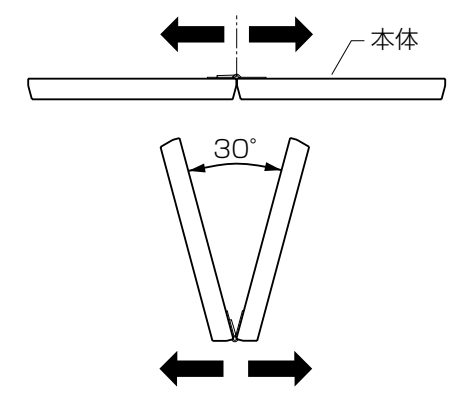
⚠注　意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注　意

●吊車は本体にねじ止めし、ガタツキがないように固定してください。本体が脱落するおそれがあります。
●上レールは仮固定ですので、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。本体が脱落するおそれがあります。

■本体の開閉操作上のお願い

※本体は把手をもって操作してください。本体と枠のすき間や、本体間のすき間で手や指を挟みケガをするおそれがあります。
※本体を開閉する際は、下記事項を守って操作してください。
●本体をフラットのまま移動させます。
●30°の角度で本体が一時固定するようになっていますので、この状態で移動させます。
※角度が30°未満の状態では移動させないでください。この場合、動きがギクシャクしたり、下部のローラーがレールから外れたりする場合があります。

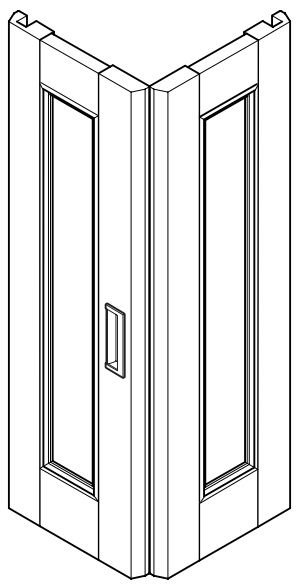
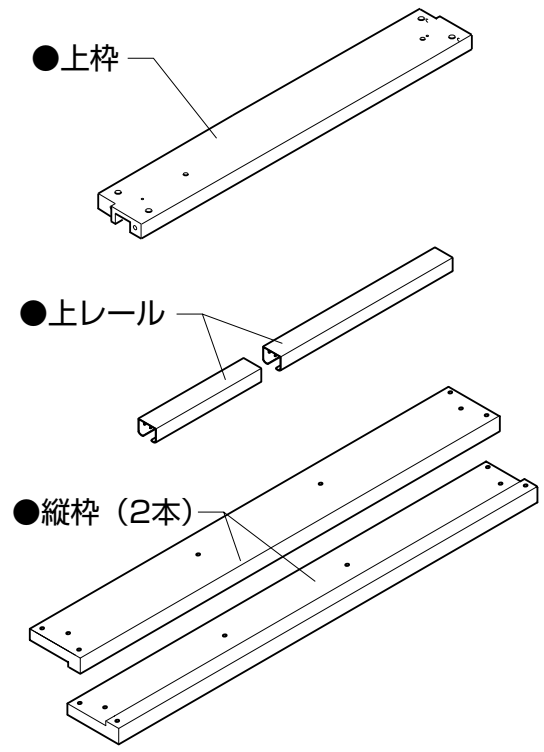
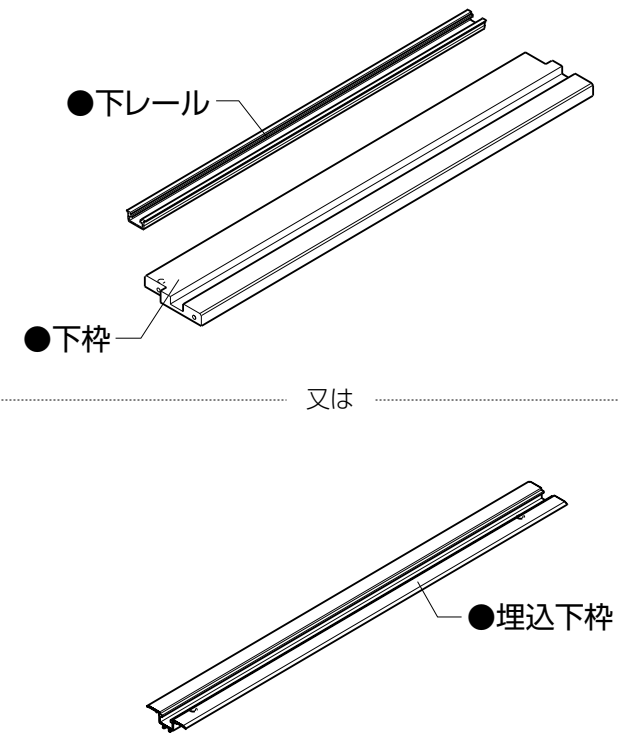


■取付け上のお願い

●本製品は上吊り方式のため、梁又はまぐさで重量を受けます。本体重量に耐える断面の梁又はまぐさをご使用ください。
●ミラータイプの本体は、1つの枠の中に1枚のみとしてください。
●枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
●集成材を使用していますので枠にソリ、ねじれがある場合があります。かい木を使用し、建具枠の水平・垂直を調整してください。
●造作材・建具枠を取付ける時には、必ず接着剤を併用してください。かい木の両面に接着剤を塗布してください。
●現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
●かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
●本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付ドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
●本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
●造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
●壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けてください。
●枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
●造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には、かい木を入れてください。
●建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
●運搬・加工の際は、キズ付けないように丁寧に取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
●納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買求め店までご連絡ください。（取付け後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）

■部品・部材の明細

■部材の明細

折れ戸本体	折れ戸用枠	折れ戸用下枠
●クローゼット本体（L/R）  ※本体に把手は取付け済です。 この図はL本体を示します。		

■本体用部品

	吊車	皿タッピンねじ φ3.5×20 （吊車取付け用）	ガイドローラー	調整スパナ	ガイドローラー固定金具
W07・08	2	8	2	1	1
W12・13・16・18	4	16	4	1	2
W24・26・27	6	24	6	1	3

■枠用部品

	皿小ねじ M4×50 （上枠・縦枠組立て用）	トラスタッピンねじ φ4×60 （上枠躯体取付け用）	皿タッピンねじ φ4×50 頭部シート色塗装 （縦枠躯体取付け用）
W07・08	4	4	12
W12・13	4	5	12
W16・18	4	6	12
W24	4	8	12
W26・27	4	9	12

■下枠用部品

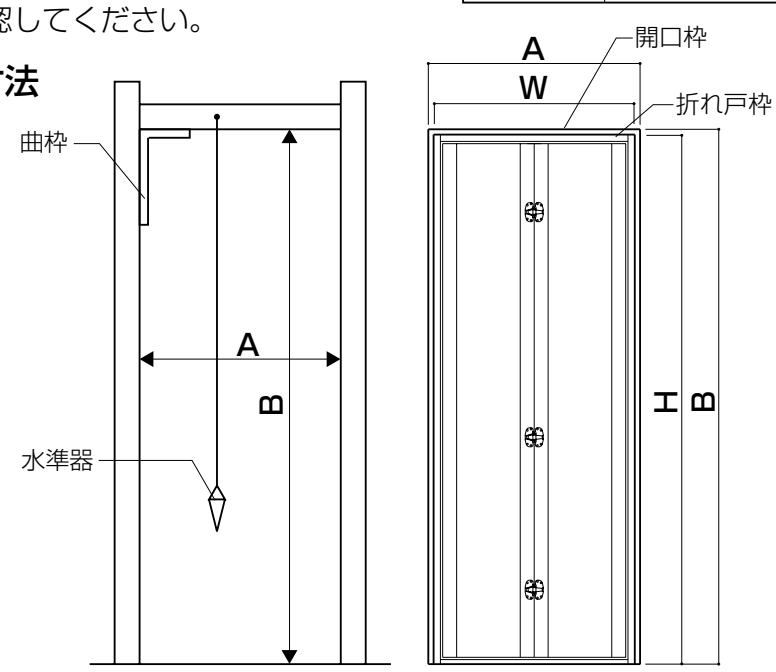
	皿小ねじ M4×50 （下枠組立て用）	皿タッピンねじ φ3.5×20 （枠取付け用）	埋込下枠端部ピース
薄下枠W07～W08	4	2	–
薄下枠W12～W18	4	3	–
薄下枠W24～W27	4	5	–
埋込下枠W07～W18	–	3	2
薄下枠W24～W27	–	5	2

■開口部の確認

※開口部の水平・垂直を確認してください。
※開口部寸法が右記寸法になっていることを確認してください。

開口寸法A	製品寸法W+10mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

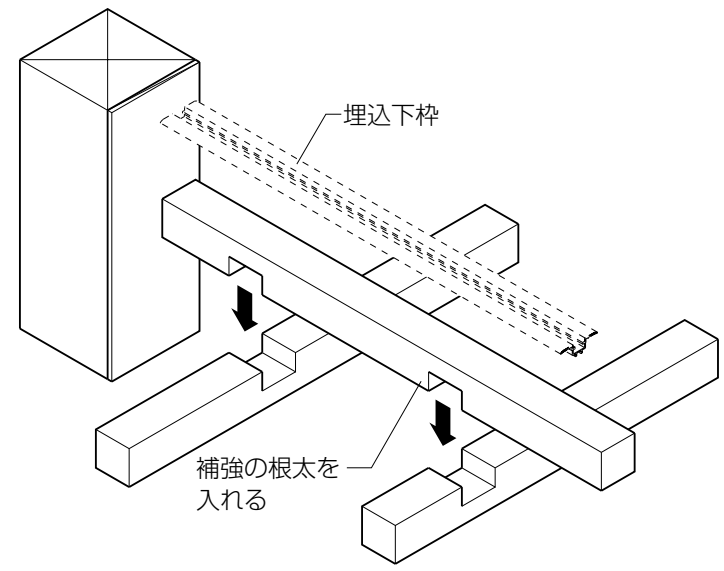
●開口寸法



■床の張り方

■下枠下地の確認

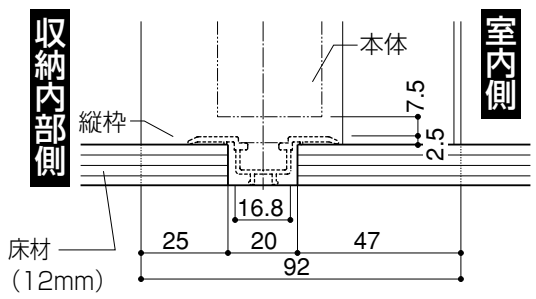
●枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や扉開閉不具合の原因となります。



【埋込下枠を使用（枠後付け）する場合】

■床張り位置(床の張込み)

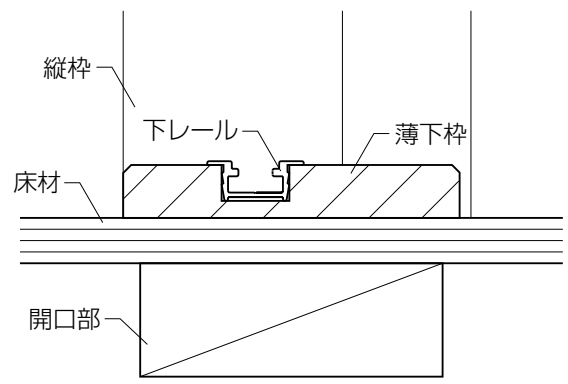
●下図の位置に20mm(最小開口)あけて床材を張ってください。



お願い
※床材は必ず左図の位置に張込んでください。床材の開口寸法が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。

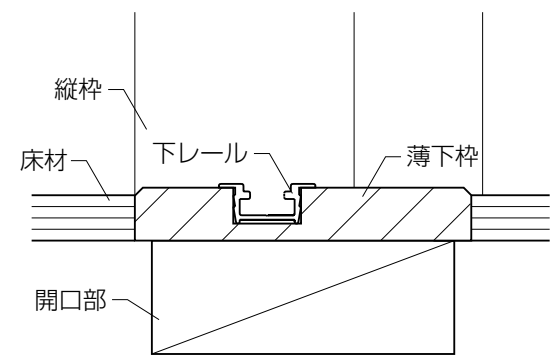
【薄下枠を使用する場合(床載せ納まり)】

●床材を張ってから枠を取付けてください。



【床後張り（枠先付け）の場合】

●枠取付け後、縦枠・薄下枠にそって床材を張ってください。

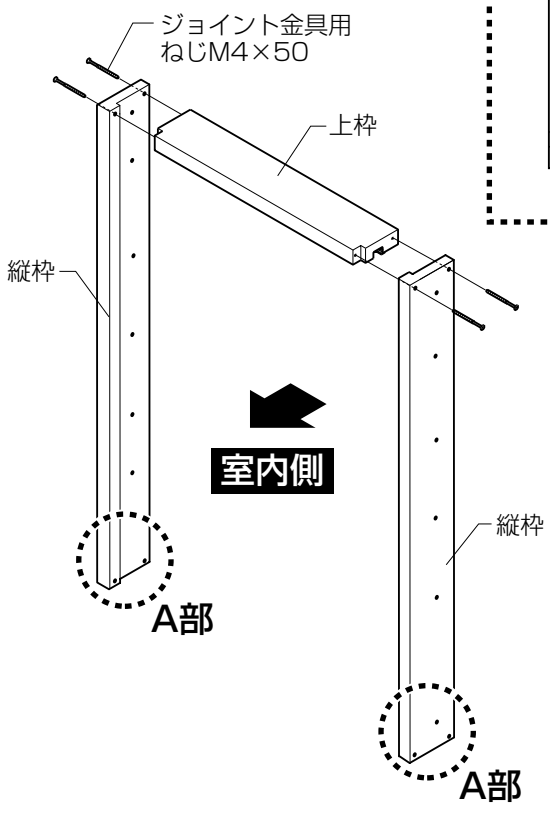


■取付け詳細

1 枠の組立て

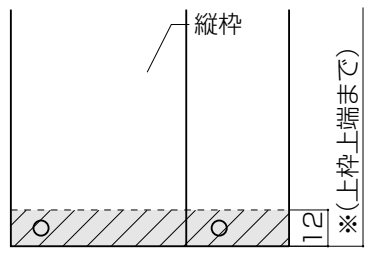
【埋込下枠を使用する場合】

①縦枠下部(A部詳細図中斜線部)を切断してください。
②下図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。



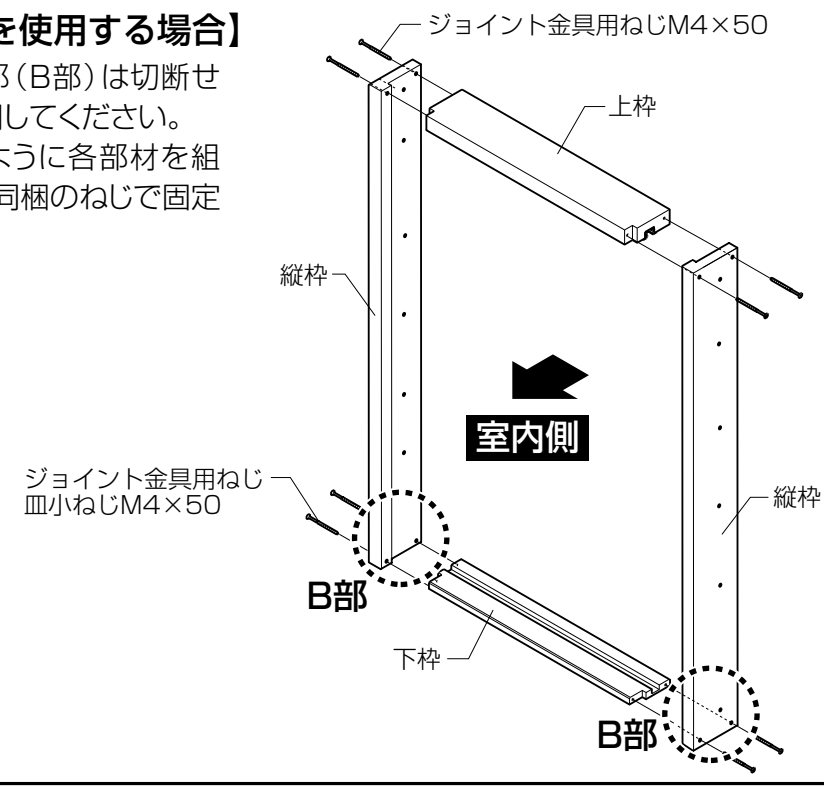
■A部詳細図

※この寸法は床上面(F.L.)から上枠上端までの寸法を、
H23＝2306
にする時の寸法値です。現場の納まりにより変更してください。



【薄下枠を使用する場合】

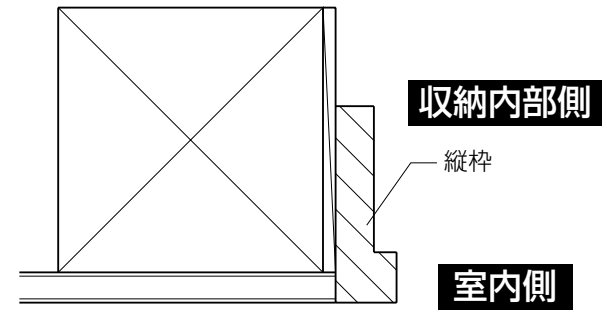
※縦枠下部（B部）は切断せずに使用してください。
●下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじで固定します。



2 枠の取付け

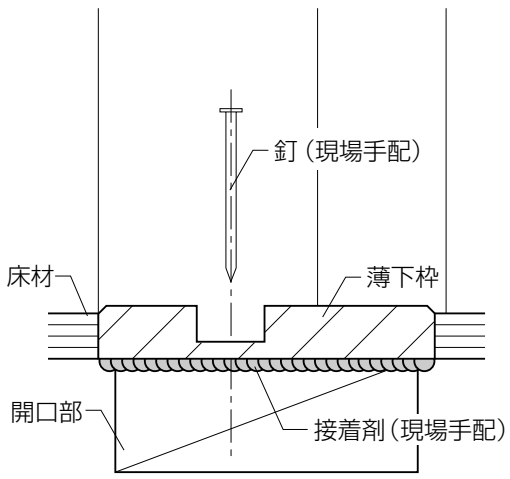
●組立てた枠を開口部に入れ、枠の固定位置を確認します。
●上枠･下枠･縦枠を躯体開口部に固定します。その際、長レールも合わせて固定します。

お願い
※枠の建付けはゆがみがないことを確認してください。ピボットタイプへ変更した時、本体の開閉操作が重くなることがあります。



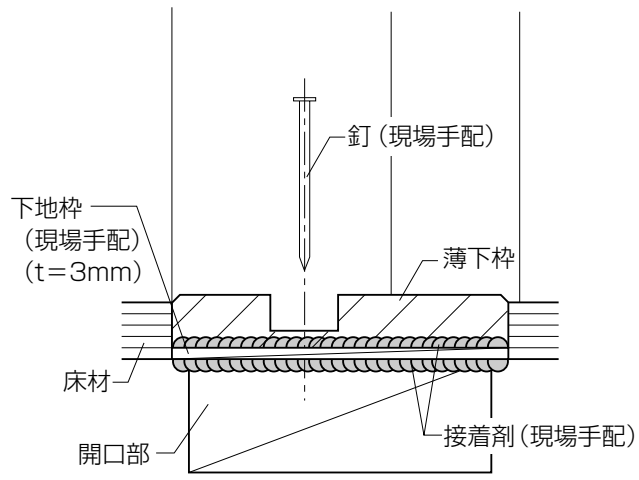
●床材厚さ12mm

※必ず薄下枠に木工用ボンド（現場手配）を付け、躯体に固定してください。



●床材厚さ15mm

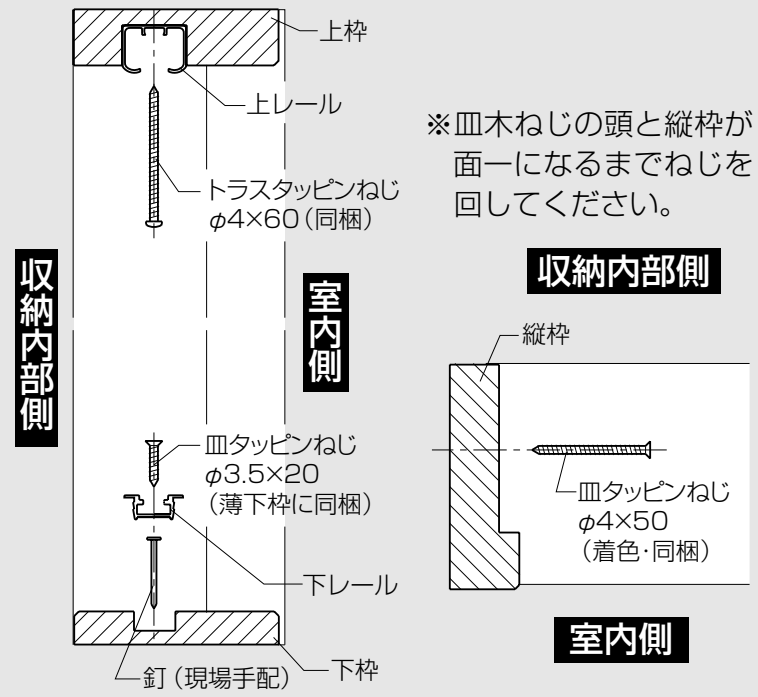
※必ず薄下枠と下地材に木工用ボンド（現場手配）を付け、躯体に固定してください。



⚠注　意

●上レールは仮固定されていますが、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。

■薄下枠を使用する場合

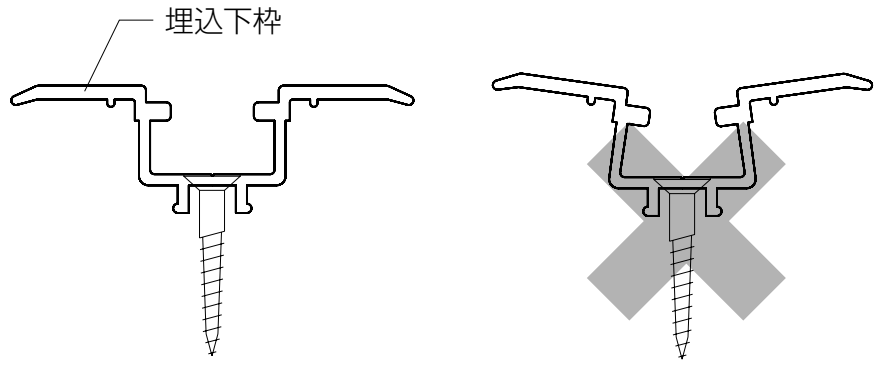


■埋込下枠の取付け

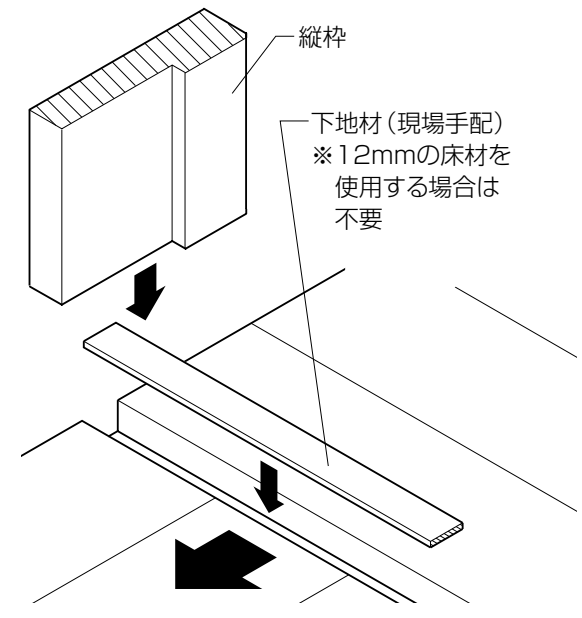
①（15mmの床材を使用する場合）下地調整材を床の開口部に取付けてください。

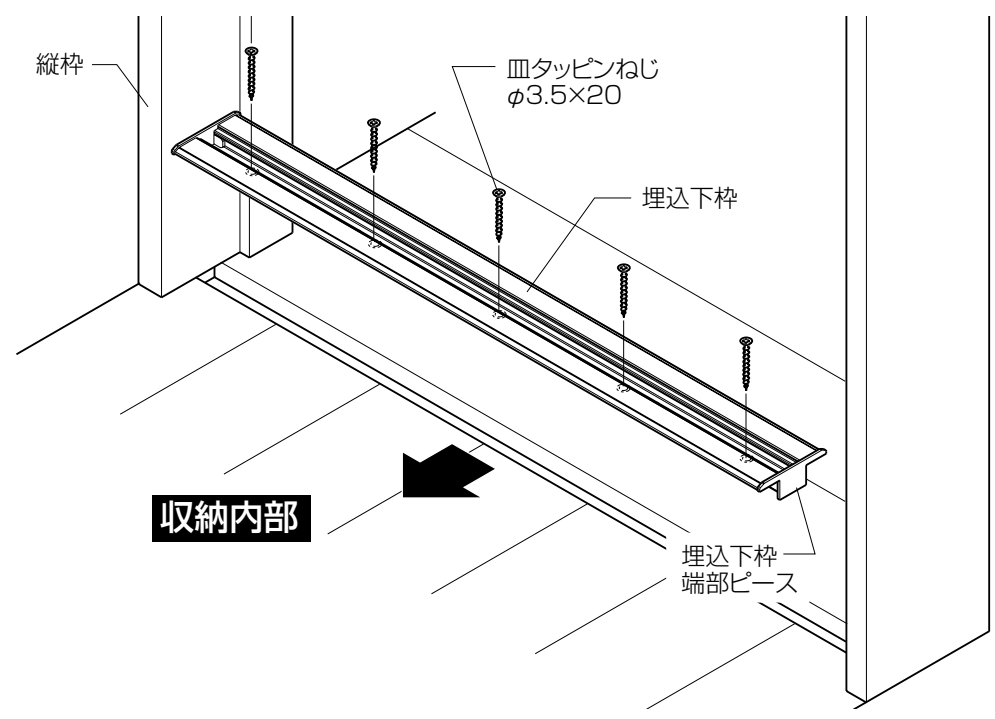
お願い

※埋込下枠を取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。埋込下枠が変形し、本体開閉不具合の原因となります。



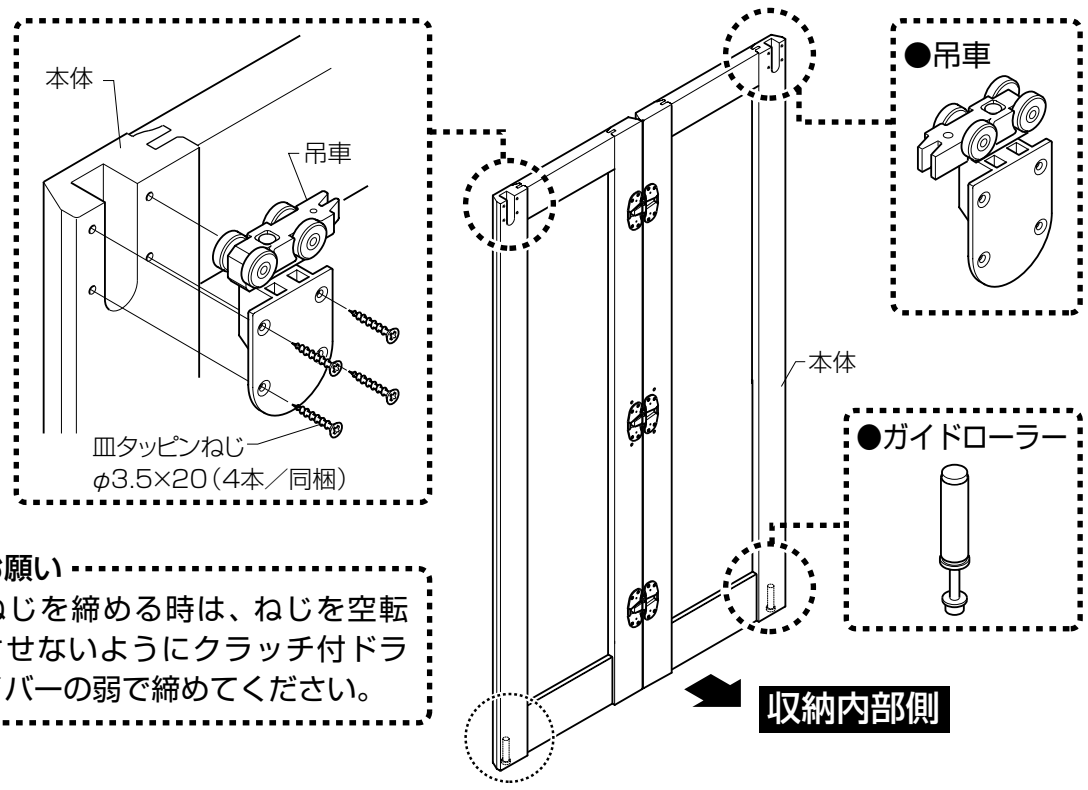
②下枠ピースを埋込下枠両端部に取付けた状態で床に埋込みます。
③埋込下枠をねじ（皿タッピンねじφ3.5×20）で固定します。





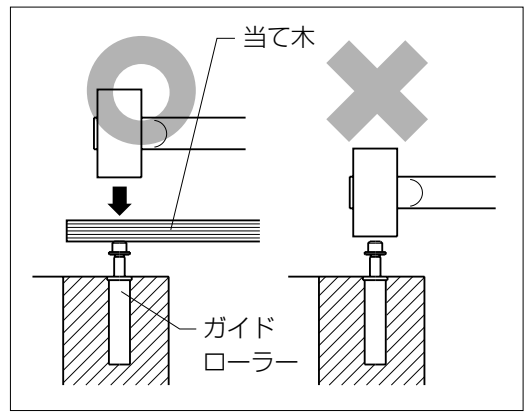
■本体の吊込み

①本体上部の切欠き部に吊車を差込み、皿タッピンねじで固定します。
ガイドローラーを本体の加工穴に圧入します。
※ミラータイプの本体は、1つの枠の中に、1枚のみとしてください。

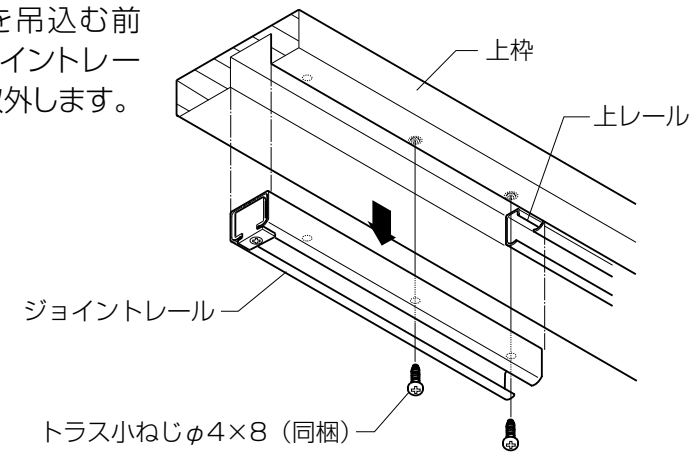


お願い
※ねじを締める時は、ねじを空転させないようにクラッチ付ドライバーの弱で締めてください。

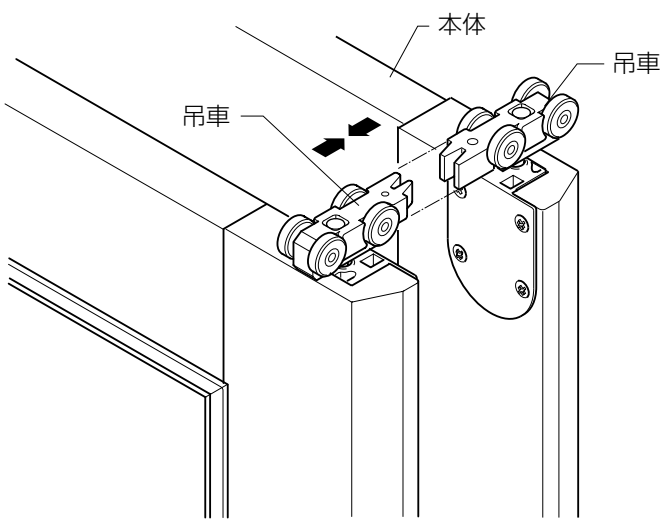
※ガイドローラーを圧入する際、樹脂部に当て木を使用してください。

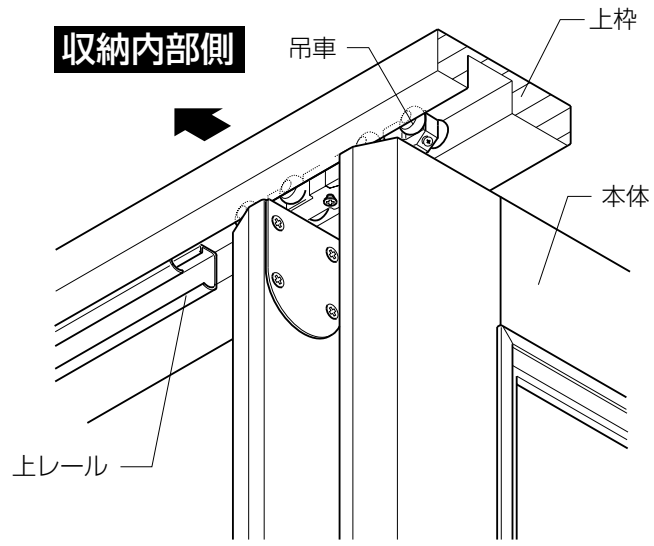


②本体を吊込む前にジョイントレールを取外します。

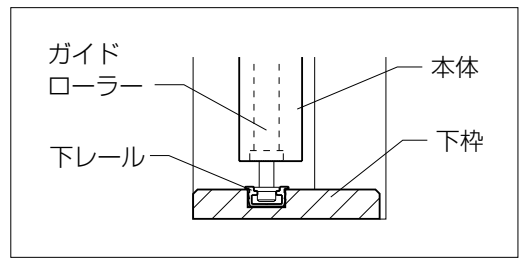


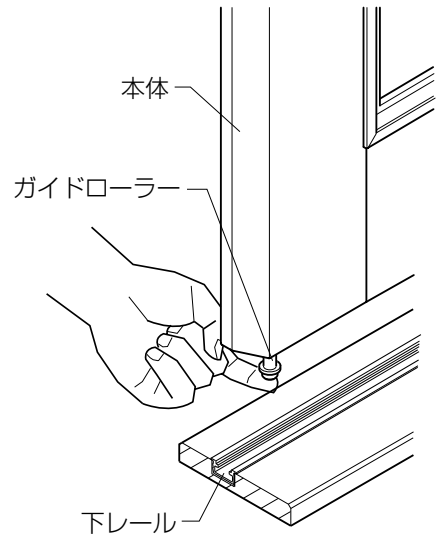
③本体を折りたたんで、本体上部の左右の吊車をかみ合わせます。次に上枠のレール端から、吊車を差込みます。





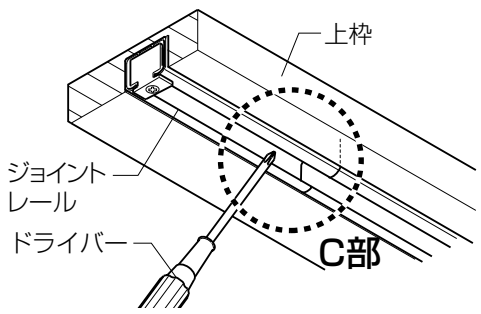
④ガイドローラー先端を指で押さえ、下部レールへ差込みます。

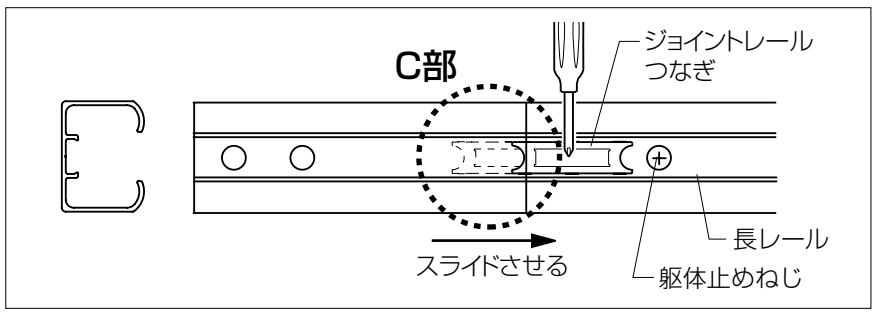




⑤本体を吊込んだ後、ジョイントレールを取付けます。

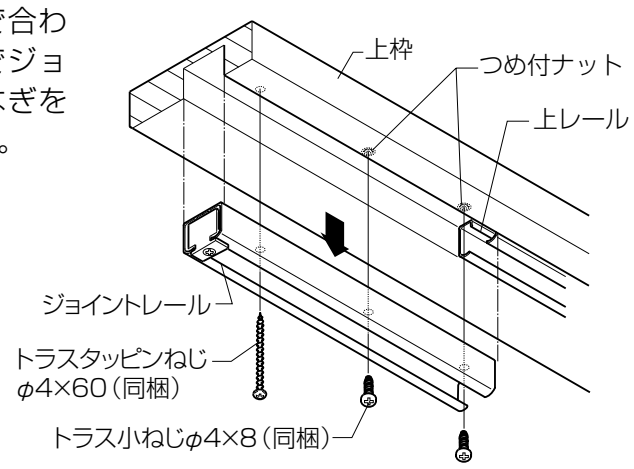
・ジョイントレールつなぎをスライドさせます。





※前後のズレを手で合わせ＋ドライバーでジョイントレールつなぎをスライドさせます。

・レール間のすき間が出ないようにねじでジョイントレールを取付けます。

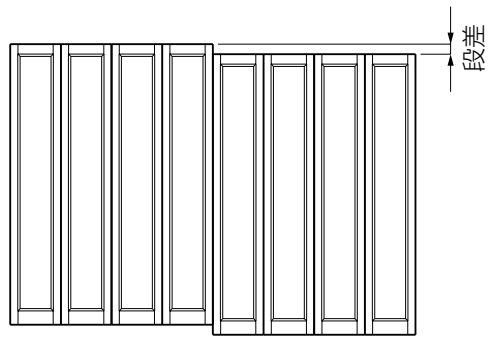


■調　整

※本体の段違い(上・下)を調整します。

【段違い(上・下)の調整】

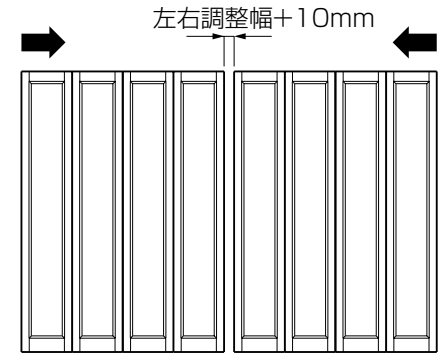
●本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回し調整してください。
(上下調整量±3mm)

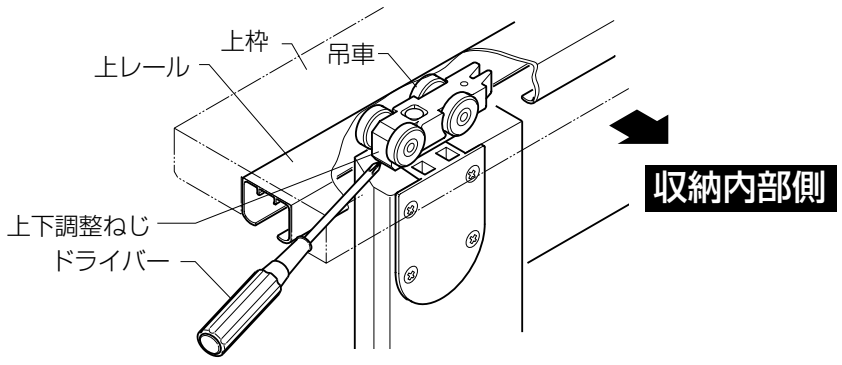


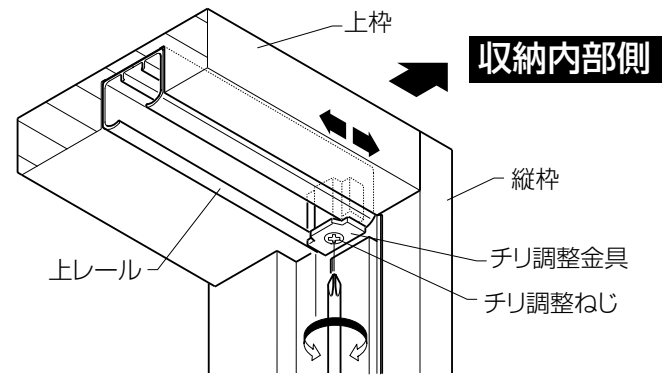
【チリ(左・右)の調整】(フリータイプの場合)

●本体間のチリが大きい場合、上レールの端部(左右)に付いているチリ調整金具で調整できます。
チリ調整ねじをドライバーで回し、調整してください。チリ調整ねじを右に回すと、チリが小さくなります。

注)チリ調整金具は、上レールの左右に付いています(W07･08は、片側のみ)ので、左右均等に調整してください。



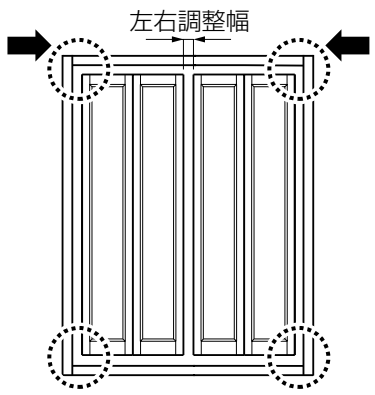




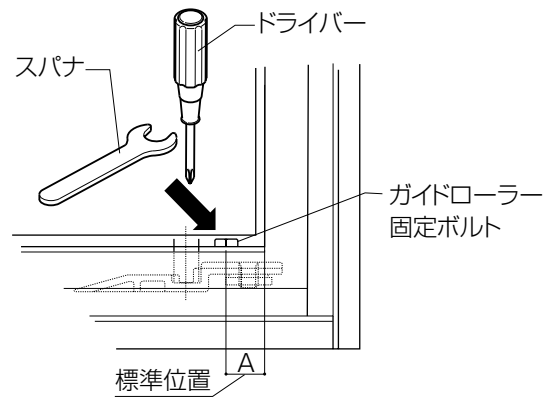
【チリ(左・右)の調整】
(ピボットタイプの場合)

●ガイドローラー固定金具の取付け方法は**【フリー→ピボットの変更】**を参照してください

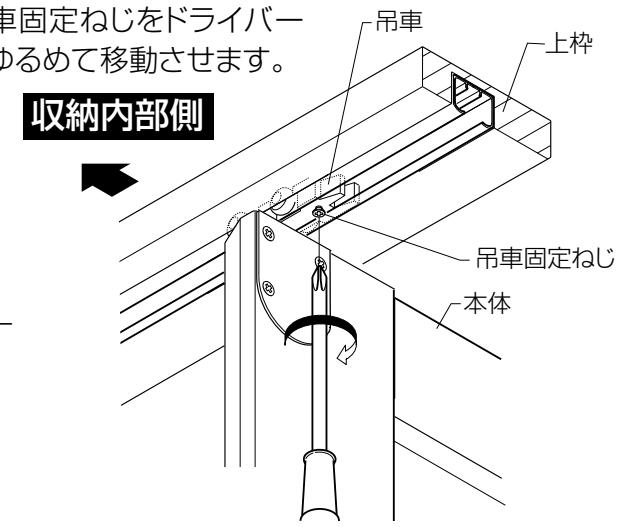
●本体間のチリが大きい場合、吊車およびガイドローラー固定金具で左右調整を行います。



ガイドローラー固定金具の固定ボルトをドライバー又はスパナでゆるめて移動させます。



吊車固定ねじをドライバーでゆるめて移動させます。



【フリー→ピボットの変更】

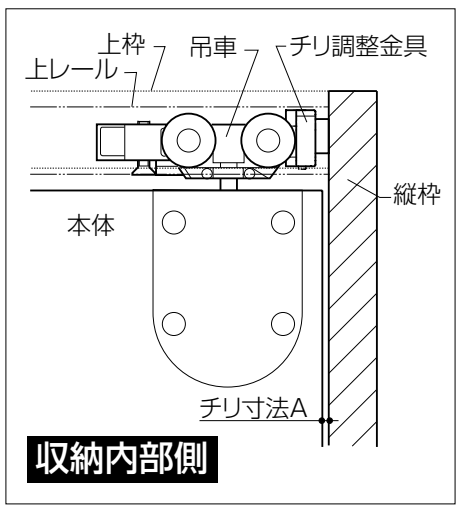
●本体上部の固定

①本体をピボットにしたい位置まで移動させます。

②固定したい本体側の上部吊車に付いている"吊車固定ねじ"を回し、吊車が固定されるまでねじを回します。

③本体を左右にゆすって本体が固定されたかどうかを確認します。

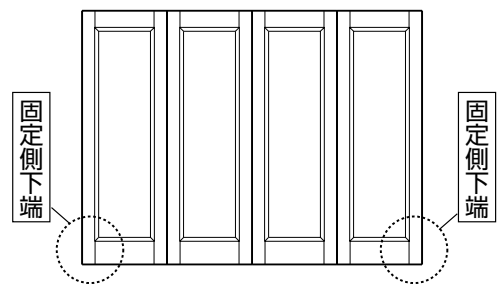
	チリ寸法A(mm)
本体1Pの時(W07,08)	3.5
本体2Pの時(W12,13,16,18)	4
本体3Pの時(W24,26,27)	3.5



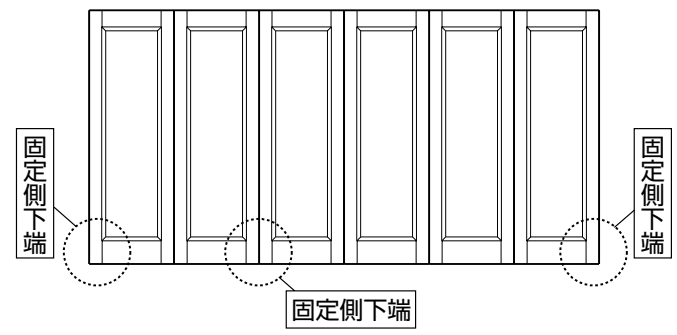
●本体下部の固定

※ピボットタイプとして本体を使用する場合は、本体用部品セットに同梱のガイドローラー固定金具を用いて本体固定側の下端を固定してください。

●本体2体固定の場合



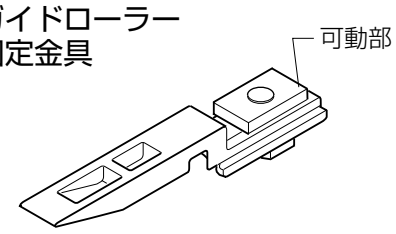
●本体3体固定の場合



①本体を正しい位置に移動させて、本体垂直が出ているか確認します。

②ガイドローラー固定金具可動部を下図のように長手方向に向けます。

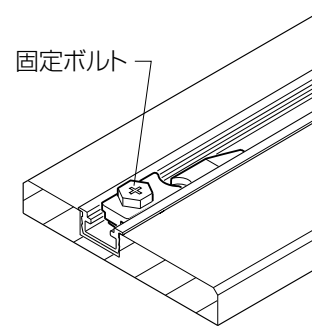
●ガイドローラー固定金具



●ガイドローラー固定金具使用数量

	数　量
本体1体固定の場合	1個
本体2体固定の場合	2個
本体3体固定の場合	3個

③ガイドローラー固定金具可動部を長手方向に保ったまま下レールに取付けます。
固定ボルトをドライバー又はスパナにて締め付けてください。

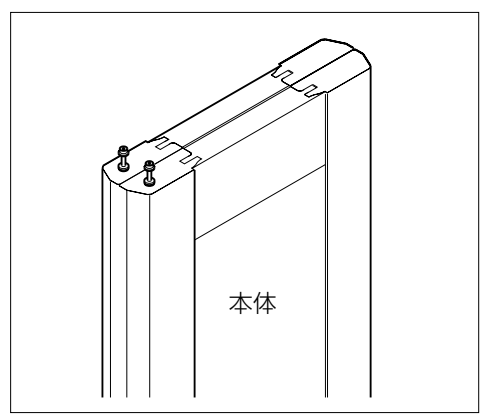


④本体のガイドローラーをガイドローラー固定金具に取付けます。

1.下図のように本体をたたみます。

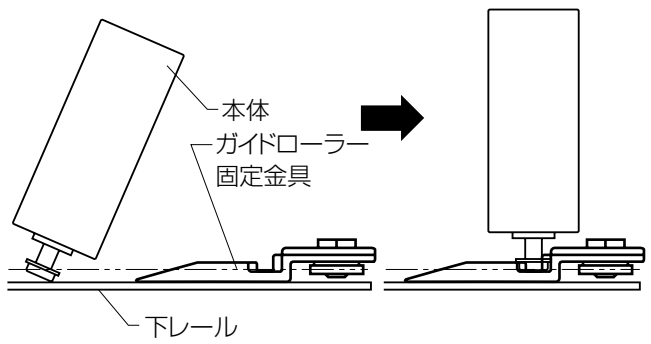
2.ガイドローラーがガイドローラー受けにはまる(「カチッ」と音がする)まで本体を立てます。

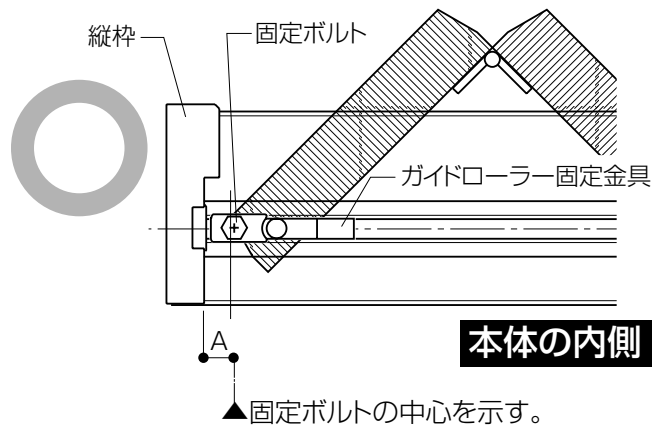
3.別の本体も同じ手順で吊込んでください。

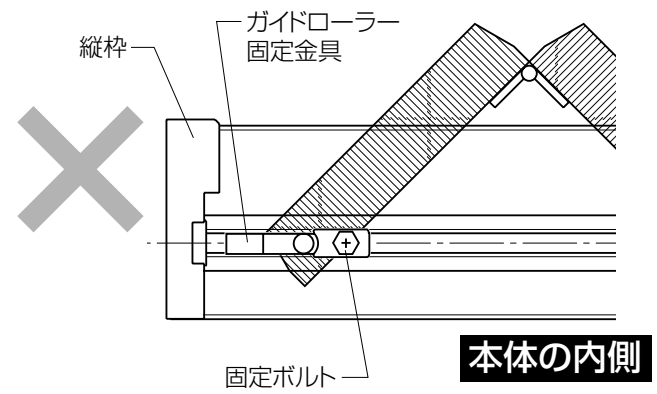


⑤ガイドローラー固定金具の取付け向きは、下図のように固定ボルトが本体の外側になるよう、取付けてください。
ガイドローラー固定金具の固定位置は、右図を参照してください。

⑥固定ボルトをプラスドライバー又はスパナで右に回します。ガイドローラー固定金具が動かないよう固定されたかどうか、確認してください。





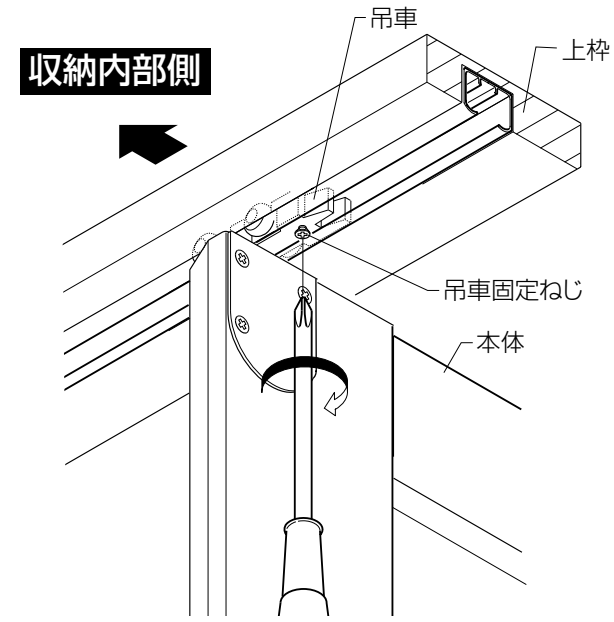


固定ボルトの中心までの寸法	A
W12,13,16,18の場合	13
上記以外の場合	12.5

【ピボット→フリーの変更】

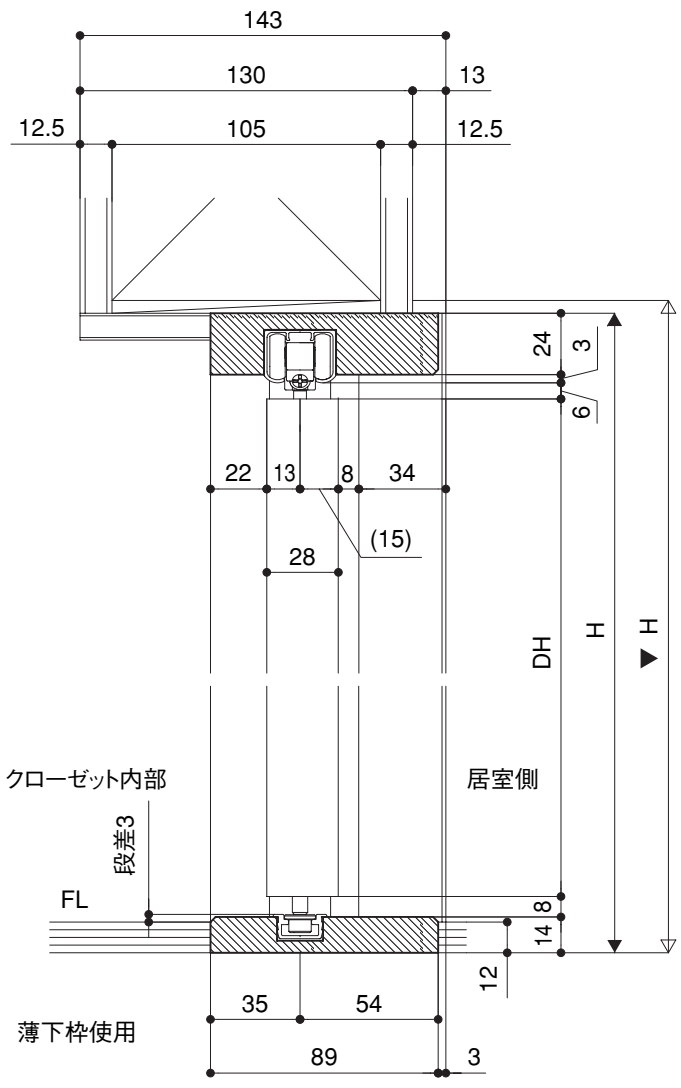
①吊車の吊車固定ねじを、ねじの回転が重くなるまでゆるめてください。ゆるめる量が少ないと吊車の動きが悪くなり開閉不具合の原因となります。

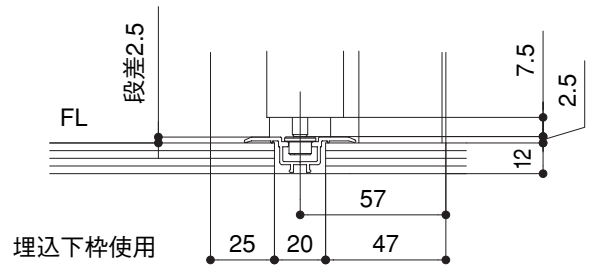
②ガイドローラーをガイドローラー固定金具から外し、ガイドローラー固定金具の固定ボルトをゆるめてレールから外してください。この時、ガイドローラーは必ず下レールにはめ込んでください。



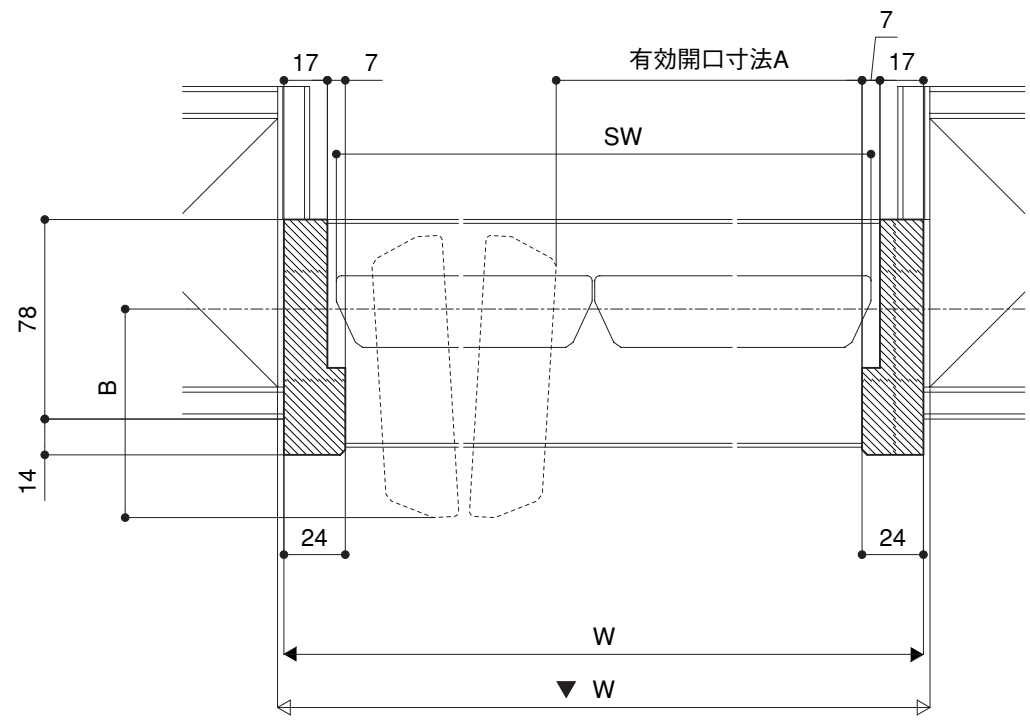
■納まり図

■縦断面図





基本寸法(mm)	W呼称	07	08M	12	13M	16	18M
	W(SW)	734(693)	824(783)	1183(570)	1323(640)	1643(800)	1823(890)
	W呼称	24	26	27M			
	W(SW)	2443(800)	2581(846)	2713(890)			
	H呼称	23					
	H(DH)	2318(2263)					

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W07(734)	566	321
W08M(824)	657	366
W12(1183)	894	260
W13M(1323)	1034	293
W16(1643)	1355	375
W18M(1823)	1534	420
W24(2443)	2033	375
W26(2581)	2171	398
W27M(2713)	2303	420

■横断面図